

会派代表質問

市民に寄り添い、市民の皆様のための
まちづくりを目指して

公明党

引間 真理子 議員



問 家事や家族の介護、身の回りの世話などを行っている18歳未満の子どもをヤングケアラーといいます。

子どもは年齢や成長の度合いに見合わない過重負担によって心身が疲弊し、学業や進路に影響するケースもあり、孤立しがちで表面化しにくいことが支援を難しくしています。

実態と情報の普及啓発・サポート体制について伺います。

答 当事者が家庭内における諸事情と捉えているため、問題が表面化しにくく、実態の把握が難しい現状です。本市においてヤングケアラーは一定数いるものと思われま

不登校児童・生徒の学びの支援はどのような形で行っているのか。

答 多様な学習機会の提供について校内適応指導教室での個別の学習支援や校外のハートフルさんぶの活用で学習機会の確保に努めている。また小・中学校ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員を活用し、関係機関と緊密に連携を図りながら不登校傾向にある児童・生徒の心の居場所づくりや学びの場の保障に鋭意取り組んでいるところでございます。

東日本大震災からこの10年間に子どもたちの命を守る防災について、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 各小・中学校では学校安全計画を策定し、防災管理と防災教育の両面から危機管理体制を整えており、

関連質問

秋葉 好美 議員



問 新型コロナウイルス対策について

65歳以上の接種について、国は7月末を目指すとのことですが、本市はどのような状況かお聞かせ下さい。

答 本市の65歳以上の接種完了見込を9月末としておりました。しかし国から、高齢者への接種を7月末までに終わらせるよう取り組む方針が示されたことから、山武郡市医師会の更なる協力による個別接種の前倒しや大網病院での集団接種及び個別接種の追加などにより接種計画を前倒しし、8月中の接種完了を見込めることとなりました。引き続き、7月末までに65歳以上の接種完了を目指し、鋭意努力してまいります。

問 集団接種での副反応について伺います。

答 集団接種において接種後にアナフィラキシーショックなどの強い副反応が発生した場合は、問診された医師の観察を受け、必要に応じて救急車を要請いたします。ご自宅に戻られてから注射部位の痛みや腫れなど、副反応が発生した場合には、24時間対応であります千葉県新型コロナウイルス副反応等専門相談窓口へ相談していただくこととなります。

問 ワクチンロス、詐欺などの対応について伺います。

答 市では、ワクチンロスを防ぐため、市のコールセンターへ予約を申し込みされた場合、予約が取れなかった方を対象に、希望を伺い、登録することになります。キャンセル待ちの対象者を確保できないと判断した場合に限り市職員のうち、接種現場で従事する保健師、看護師、次に保育士などに接種してまいります。また、詐欺などの対応は、市ホームページ、SNSで周知してまいります。

関連質問

上代 和利 議員



問 東金九十九里有料道路を一時避難場所としての活用について

答 市における津波避難において、東金九十九里有料道路の活用は有効であると考えますが、道路構造として、安全性の確保ができないことなど課題があるため、津波避難場所としての可能性について、調査し、関係機関と協議してまいります。

問 障がい者など要援護者における個別避難計画について

答 個別避難計画は、災害時に障がい者など自力で避難することが困難な要援護者ごとに事前に支援者や避難方法を定めるものであり、計画作成が市町村の努力義務として位置づけられました。市では、一部の自主防災組織において、個別避難計画が作成されていますが、改めて計画内容や作成手法など関係課や関係機関と連携を図り、作成にむけて今年度から着手してまいります。

問 ハグ(避難所運営ゲーム)を推進することについて

答 市では、避難所運営ゲームを職員災害初動対応訓練で活用したほか、総合防災訓練において、自主防災組織の方々を対象に活用を計画しています。今後も避難所運営が想定される職員や自主防災組織などを対象に防災訓練などを通じて避難所運営ゲームを活用し、避難所運営の向上に努めてまいります。

問 スマートフォンを活用して避難所の避難情報がわかるようにできないか。

答 令和元年の災害対応における検証をもとに、収容人数の上限を設定し、空き状況を周知することになりました。スマートフォンでも情報取得ができるよう情報伝達に努めてまいります。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる
豊かなまちづくりの実践!

林 正清子 議員



問 千葉県から「千葉県飲食店感染防止対策認証モデル事業」を実施することが発表されました。どのような事業内容なのか。また、全県で事業が開始された場合の周知方法をお聞かせください。

答 千葉県では、千葉市内の飲食店を対象に千葉県飲食店感染防止対策認証モデル事業を開始します。この事業は、飲食店からの申請に基づき、取組状況を確認し、基準を満たした店舗には「認証ステッカー」の交付と、県のホームページで公表されます。また、認証に必要な整備費用については30万円を上限に補助金が交付されます。この認証事業が、全県を対象に実施された場合は、ホームページや広報紙において周知するとともに、市商工会などの関係団体と連携し取り組んでまいります。

問 宮城県内の小学校で、防球ネットの支柱が折れて児童が亡くなる痛ましい事故が発生しました。小中学校の安全点検について、一斉点検をするよう、全国の教育委員会に要請されたそうですが点検の結果は、如何でしたか。また、危機管理マニュアルは、それぞれの学校の実情に合わせたもので、教職員以外の立場ならではの視点や協力により、安全管理の取組が充実すると考えられますが、そのような運用をされていますか。

答 学校に設置している防球ネットの緊急点検等について、千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課を通じて、4月30日付けで通知があり、市内小中学校で緊急点検を行った結果、設置のある学校については、すべて問題なしとの報告を受けています。学校安全計画及び危機管理マニュアルについては、学校保健安全法に基

づき定期的な安全点検の方法や、災害・不審者侵入時の対応など、各学校の実情に応じて、毎年度、見直しを行い策定しております。また、保護者・地域・関係機関等との連携については、地域住民の方を委嘱している学校評議員や地域の見守りボランティアの方から助言や情報をいただくとともに、年1回、千葉県教育庁東上総教育事務所の学校訪問の際、学校ごとに学校安全計画や安全点検簿等の確認や点検、並びに、施設等の安全点検の実施により適宜指導を頂いております。

問 大網白里市生活相談センター「CURE」は、旧事業の「リンクサポート」から移行されたものと思われませんが、継続されるものがあるのかも含めてあらためて事業内容をお聞かせください。支給制度も引き続き存在するのかを詳細にお教えください。また、相談員とのトラブル発生の際の対応、市との関わりも含めてお教えください。

答 自立相談支援事業は、生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じる相談窓口となり抱えている課題を適切に評価分析し、支援プランを作成するなどの支援を行うほか、関係機関との連携調整を行います。事業内容もこれまでと同様に実施されます。住居確保給付金は、市の必須の事業ですので、実施されます。また、関係機関との連携のため、支援調整会議を月に一度開催し、市社会福祉課、CUREと、社会福祉協議会、ハローワークの担当者が参加し、情報共有や意見交換を行っています。トラブル発生時は、社会福祉課の職員が相談に立ち会ったり、相談を引き継ぐなどの対策を講じています。